

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 倉敷北
日付	平成18年10月12日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

### 外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>「車イスの生活には、できるだけならないように」との思いから、毎日、体操やレクリエーション、散歩、買い物などを取り入れて対応しています。そして、強制にならないように注意し、何もしないのでは体力の維持は難しいということ、入居者一人ひとりの性格を把握しながら、個々にあったメニューを考えています。そのときそのときを大切に考え、入居者が何をしたいのかをどのように尊重し、対応しています。</p> <p>定期的に行なわれるケア会議では、入居者一人ひとりの現状から今何が問題なのか、なぜそう思ったのかなどの前向きな意見が湧き出し、betterな介護ケアを職員どうし常に念頭に置いて、「考えること」を習慣付けています。介護の記録も日々の行動の列挙ではなく、何が問題だったのかか解るように記入しています。その前提となるのが日々の見守りで、その結果、職員間の意思疎通もしっかりでき、無駄のない動きとなっています。</p> <p>新人の教育もしっかりできていました。漠然と仕事をこなすのではなく、今最低限やるべきことを文章で指示し、基本の仕事ができるように導いています。将来は、自分でレベルアップができるシステム作りに全員で取り組んでいます。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>台所の位置が壁側にあり、調理中の職員は見守りが不足しているように見えました。意識はしているみたいですが、見守りの重要性を初心に帰って考え、より快適な施設を目指していただきますね。</p>

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居時の体力を維持しようと考えています。車イスの生活にならないようにグループホームの中ではできるだけ車イスを使用せず歩いてもらっています。また、1日2回体操をしています。昼からは水の入ったダンベルを用いて行っています。 入居時より元気になった入居者もみられます。そこで今年はこの方針にプラスして、個別の対応に重点を置き介助にあたっています。一律の体操では参加を嫌がり、何もしない入居者もみられるので、個々の性格や運動能力をよく考えてその人に出来ることを提案し、そのときの気分も考慮して入居者に選んでもらっています。外出も個別に行い、入居者一人に職員一人が対応して、1日に何度も出かけています。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 全体として行動すると嫌がる入居者が多いようです。入居者個々の正確を考えながら、個別に対応しています。1対1で話をして食事の準備や片付け、買い物などに行っています。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 全員に言うのと嫌がる場合がありますので個別に言葉かけをしながら、出来ることをお願いしています。動くことが好きな入居者には、掃除や買い物をお願いしています。あまり動けない入居者には食事の準備や味付けなどをお願いしています。入居者個々に合わせて、できることをしてもらっています。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	入居者の状態をよく観察して「今、何が問題なのか」と考える事を習慣づけています。ケア会議でも入居者一人ひとりに対して担当者何が問題なのかを話し、どうすべきかを発表します。他の職員はその話を聞いて、不足していること間違っていることを話し合いますが、活発に意見が出ているようです。 また常に「なぜ」と感じながら入居者を見ているので、介護の記録にも日々の行動を書くのではなく、なぜこのようなことになったかが分かるように書かれています。		